

7月5日：国内外の投資家の売りを受け、VN 指数は反落

国内外の投資家による売りが響き、週明けのベトナム株式市場は軟調な展開となった。

ホーチミン市場のVN 指数は0.64% (9.14ポイント) 安の1,411.13ポイントだった。朝方に売られたものの、引けにかけて少し下げ幅を縮めた。

値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回り、287銘柄が下落、112銘柄が上昇した。

出来高は引き続き高水準で、売買高は約8億1,700万株、売買代金は28兆ドン (12億2,000万米ドル) を超えた。

午前中から多くの大型株が売られ、利益確定売りはマーケットの重しとなった。しかし一部の大型株は大きく買われ、マーケットを支えた。

VN30 指数は0.21%高の1,557.79ポイントと昨日に続き上昇した。

同指数採用銘柄のうち、22銘柄が下落、8銘柄のみ上昇した。

マーケットの値下がり寄与度上位5銘柄には公益、不動産、素材、銀行セクターの銘柄が入った。中でも寄与度トップだったのはペトロベトナムガス (GAS) -4.76%。ビンググループ (VIC)、ノブランド不動産投資グループ (NVL)、ホアファットグループ (HPG) はそれに続いた。それぞれ2%を超える下げとなった。

他にも輸送セクターのベトナム空港社 (ACV)、ベトジェットエア (VJC) が1%を超える下落となった。

ベトコムバンク (VCB)、ヴィエティンバンク (CTG) といった一部の銀行株が1%以上下げた一方で、テクコムバンク (TCB)、アジアコマーシャル銀行 (ACB)、サコムバンク (STB) といった一部の銀行株は3%を超える上昇となった。

モバイル・ワールド・インベストメント (MWG) は6.19%高と堅調な動きを見せ、マーケットを下支えた。

FPT グループ (FPT) による新しい取引システムの運用が始まった。多くのアナリストは投資家心理が良好で VN 指数が新高値をつけることを期待した。しかしマーケットはアナリストの期待とは反対の方向に動いた。

FPT グループの株価は+0.87%と小幅に上昇した。

ハノイ市場の HNX 指数は 0.08%安の 327.76 ポイントだった。

売買高は 1 億 4,350 万株で、売買代金は 3 兆 4,000 億ドンだった。

一方で外国人投資家は両市場 (ホーチミン、ハノイ市場) で合わせて 844 億ドンを売り越した。そのうち、ホーチミン市場では 688 億 4,000 万ドンを、ハノイ市場では 155 億 6,000 万ドンを売り越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。